

平成 2 7 年度事業計画書
平成 2 7 年度予算書

自 平成 2 7 年 4 月 1 日

至 平成 2 8 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 海 原 会

平成 2 7 年度 事業計画書

自 平成 2 7 年 4 月 0 1 日

至 平成 2 8 年 3 月 3 1 日

公益財団法人海原会は、戦没された予科練同窓生各位の御霊に対して、深甚なる敬意を捧げるとともに、その歴史的事実を正しく後世に伝承すること及びその御霊に尽瘁するための事業を通じて、かつて日本国民が味わったかの忌まわしい惨禍を再び繰り返すことのないように、全世界の平和とわが国の繁栄及び国民の幸福に寄与することを基本理念として設立されて以来、今日まで 3 0 有余年に亘って活動してまいりました。

この間、会員一同は加齢による体力の減退にも負けずに、本法人の意義あるところを若い世代に伝承すべく活動を継続してまいりました。

平成 2 7 年度は特に、前年度に実施したご遺族調査結果に基づきご遺族との連携強化のための施策を促進するとともに、戦没予科練生の聖地とも言うべき雄翔館及び雄翔園内所蔵の遺書・遺品等歴史的資料の整備に焦点をあてるとともに、昨年度に引き続き展示の充実を目指し本法人の法人の最大の目的である戦没予科練同窓生の慰霊と顕彰に相応しい雄翔館の整備を目指します。

この際、2 6 年度末でその構成要員が同窓生から賛助会員に代わった霞ヶ浦支部の活性化のための施策を計画いたします。

I 慰霊顕彰事業

先の数次の大戦において、祖国日本の危急を救うために、名実ともにわが国航空戦力の中核となり、あるいは航空機に代えて回天・震洋などの搭乗員として、一身を国に捧げた予科練出身戦没者の慰霊顕彰事業は、本法人の主要事業の一つであります。

その中でも最も重要なものは、陸上自衛隊武器学校の敷地内に建立されている「雄翔園」における「第 4 8 回全国予科練戦没者慰霊祭」であります。本年度も前年度に引き続き、日本全国から多くの同窓生及びご遺族等のご参列を頂き、昨年度と同様初夏の風が心地よい、5 月 2 4 日（日）に開催します。

「全国予科練慰戦没者霊祭」以外にも、全国各地で行われる慰霊祭に、海原会役員を出席させ本会の目的である予科練出身戦没者の慰霊・顕彰を推進いたします。

その重要なものは以下に記述するとおりであります。

〔1〕第 4 8 回全国予科練戦没者慰霊祭

ア 時 期 : 平成 2 7 年 5 月 2 4 日（日） 午前 1 0 時 3 0 分

イ 場 所 : 陸上自衛隊武器学校内 雄翔園

ウ 内 容 : (ア) 慰霊飛行
(イ) 第 4 8 回慰霊祭式典
(ウ) 直 会

エ 協 力 : 陸上自衛隊武器学校・同施設学校・海上自衛隊下総教育航空群
阿見町予科練平和記念館

〔2〕各地区戦没者慰霊祭

| | | | |
|---|-----------------|----------|--------------|
| ア | 豫科練雄飛会慰霊祭 | 平成27年4月 | 於：靖国神社境内 |
| イ | 靖国神社春季例大祭 | 平成27年4月 | 於：靖国神社参集殿 |
| ウ | 大分海軍航空隊鎮魂祭 | 平成27年4月 | 於：大分護国神社 |
| エ | 浜空鎮魂の碑慰霊祭 | 平成27年4月 | 於：浜空神社跡地 |
| エ | 宮崎特攻基地慰霊祭 | 平成27年4月 | 於：宮崎特攻基地慰霊碑前 |
| オ | 若桜の碑慰霊祭 | 平成27年5月 | 於：同碑前 |
| カ | 靖国神社第24期慰霊祭 | 平成27年5月 | 於：靖国神社境内 |
| キ | 靖国神社崇敬奉賛会 | 平成27年5月 | 於：靖国神社境内 |
| ク | 東郷神社海の宮祭 | 平成27年7月 | 於：「海の宮」お社前 |
| ケ | 野辺山若草会 | 平成27年7月 | |
| コ | 全国戦没者追悼式 | 平成27年7月 | 於：日本武道館 |
| サ | 8.15会慰霊祭 | 平成27年8月 | |
| シ | 特攻平和観音慰霊祭 | 平成27年9月 | 於：世田谷観音 |
| ス | 零戦の会慰霊祭・総会 | 平成27年9月 | 於：靖国神社 |
| セ | 靖国神社秋季例大祭 | 平成27年10月 | 於：靖国神社参集殿 |
| ソ | 静岡雄飛会慰霊祭 | 平成27年10月 | |
| タ | 串良基地戦没者慰霊祭 | 平成27年10月 | |
| チ | 台湾元日本軍人軍属戦没者慰霊祭 | 平成27年11月 | 於：台中市宝覺寺 |
| ツ | 特攻隊戦没者慰霊祭 | 平成28年3月 | 於：世田谷観音像前 |

II 定期刊行物発行事業

本法人の機関誌「豫科練」は、発行以来427号を数え、会員・遺族及び関係諸団体の皆さんから強い関心と高い評価を得ておりますが、27年度は更に掲載内容の充実を図り本法人の健全なる運営に資するように努力してまいります。

このため、編集にあたっては、全国各会の活動状況の紹介や、予科練同窓の戦争体験談等の、従来の内容に加えて今年度は会員の活動状況を紹介するとともに、生存同窓やご遺族との面談の記録を掲載し、ご遺族の皆様・会員の皆様に喜ばれるような内容の充実に力を入れてまいりたいと思います。

また、同誌に投稿をしていただいた方に記事が掲載された機関誌を贈呈することにより、会員以外の購読者の発掘にもチャレンジしたいと考えております。

〔1〕編集委員会

(3, 4月号) : 2月 (5, 6月号) : 4月 (7, 8月号) : 6月 (9, 10月号)
8月 (11, 12月号) : 10月 (1, 2月号) : 12月 (3, 4月号)

[2] 機関誌発行

(3, 4月号) : 3月1日 (5, 6月号) : 5月1日 (7, 8月号) : 7月1日
(9, 10月号) : 9月1日 (11, 12月号) : 11月1日 (1, 2月号) : 1月1日

III 青少年育成支援事業

球技大会への助成

27年度も昨年度に引き続き、雄翔園の地元阿見町の青少年育成のために町が主催する球技大会等への助成を実施します。また、会員から候補団体などの情報を収集して、理事会に図ったうえ支援を行うように努めます。

IV 遺書・遺品・実戦記録等の整備事業

戦後70年が過ぎ、戦没同窓生のご遺族も世代が親兄弟の時代から、子や孫の時代に変化し、家族の形態や居住環境が大きく変化したのに伴い、各ご遺族が保管していた遺書や遺品等もその維持管理が困難になるケースが多くなりつつあります。これにともない、本法人では予科練戦没者の遺書・遺品・実戦記録を収集するとともに、予科練生存者・遺族及び海軍出身者などの体験談等を収集して、予科練の史実を次の世代へ正しく伝承するよう努力し、それらの資料を雄翔館に展示することにより戦没同窓生の偉勲の顕彰に努めます。

特に、27年度は海原会所蔵の遺書・遺品・遺影等の電子データ化を前年度に引き続き促進して、体系的な展示を可能にするとともに、戦没者紹介ポスターを海原会ホームページにアップして海原会会員の活用に供しえる体制を整える。

[1] 予科練戦没者の遺書・遺品の収集および実戦記録等の作成

機関誌に収集要領を掲載し、年間を通して資料の収集を実施します。

[2] 収集した遺書・遺品等の劣化防止のための施策を実施

[3] 体験談等の録画及び公開

実戦や予科練での訓練・生活の様子について体験談を映像で収集整理するとともに、雄翔館内の証言記録視聴用モニターの内容の充実を図ります。

また、海原会ホームページへのアップを計画します。

V 遺族調査事業

様々な手段により戦没予科練生のご遺族の調査を行い、ご遺族ネットワークを構築するとともに、現在海原会で把握しているご遺族のデータベースの充実・更新を行います。また、ご遺族訪問の記録を保存するとともに、ご遺族の同意を得たものについて機関紙及びホームページ上に公開します。

VI 阿見町予科練平和記念館運営協力

阿見町予科練平和記念館運営協議会委員として、適任の理事1名を参加させ同館の運営に対して意見を述べ、同館と雄翔館の同地域における共存共栄の基盤を確立します。

VII 庶務事項

[1] 理事会

月1回の定例理事会を海原会事務局会議室において、実施します。

平成27年4月24日 5月21日 6月12日 7月24日 8月21日

9月18日 10月23日 11月20日 12月18日

平成28年1月14日 2月19日 3月19日

[2] 評議委員会

第4回評議委員会を平成27年6月12日（金）東海大学学友会館において実施する。

a 26年度事業報告議決（26年度収支決算を含む。）

b 27年度事業計画報告（27年度予算書を含む。）

c 27年度役員改選（評議員を除く。）

d 海原会約款改正

[3] 会計監査

平成26年度の収支報告書に基づき、会計監査を行い海原会の経費使用状況の健全性を監査する。

ア 時期 平成27年4月20日（月）

イ 場所 海原会事務局 会議室

[4] 内閣府公益認定等委員会事務局による立ち入り検査受験

ア 時期 平成27年6月末日まで

イ 場所 海原会事務局 会議室